前立腺摘除術を受ける方へ

患者氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 様

病状説明：前立腺癌を認めます。手術にて前立腺を摘出します。
入院期間は約2週間です。

退院基準：日常生活に支障がない程度に尿禁制が保たれる。
発熱がない。創部痛が内服薬でコントロールできる。
創部に異常(著明な腫脹・出血・感染・離開)がない。
退院後の生活について理解できる。

	外来及び手術前	入院・手術前日（　/　）	［前］　手術当日（　/　）　［後］		術後１日目（　/　）
検査 治療 処置	●血液検査 ●胸部・腹部レントゲン撮影 ●心電図検査 ●肺機能検査 ●動脈からの採血 （血液中の酸素濃度を調べます。） 上記の検査を行います。 	●リストバンドをつけます。 ●身長・体重を測定します。 ●弾性ストッキングのサイズ測定を行い、はく練習をします。	●手術前に弾性ストッキングをはきます。	●体温・脈拍・血圧を手術直後から、定期的に測ります。 ●酸素・心電図モニター・血液中の酸素濃度を測る機器を指につけます。 ●血液循環を良くするため、足にフットポンプを着けます。→ ●採血があります。 ●尿の管を身体に固定して、水で持続的に洗浄します。→	●体温・脈拍・血圧を1日3回 測ります。 ●酸素・心電図モニターをはずします。 ●採血とレントゲン撮影があります。 ●フットポンプを外します。 ●持続洗浄は血尿の程度により、中止します。
薬剤	●普段内服している薬がありましたら、お知らせ下さい。 ●脳梗塞や心臓の病気・血液の病気などで血液が固まりにくくなる薬などは必ず申し出て下さい。 			●手術後は24時間持続的に点滴をします。→ ●痛みがある時は痛み止め、熱がある時は解熱剤を使うことがあります。 ●吐き気があれば看護師にお知らせ下さい。	●抗生剤の点滴があります。
安静度	●普段通りの生活ができます。	●病院内自由に歩行できます。	●主治医と看護師と歩いて、手術室へ行きます。	●ベッド上安静です。　※寝返りはできます。	●歩行できます。→
リハビリテーション	●仰向きで深呼吸の練習をして下さい。→	→	→	●目が覚めたら深呼吸をして下さい。 	●看護師（及び理学療法士）によるリハビリテーションを開始します。 座る練習から始め、徐々に歩きます。 最初は看護師が付き添います。 ※ベッドを起こして坐る →背もたれなしで坐る →ベッド柵を持って立つ →ベッドの周囲を歩く →部屋の中を歩く →病棟内を歩く
排泄	●制限はありません。→	→	→	●手術中に尿の管が入ります。→	→
清潔	●入浴できます。	●手術する部位の毛を剃り、お臍の掃除をします。 その後、シャワー・シャンプー 爪切りを済ませて下さい。 	●起床後必ず、洗面・歯みがき・髭剃りをして下さい。 ●油分の多いクリームをつけたりしないでください。 ●時計、アクセサリー、入歯など外せるものは全て外して下さい。		●リカバリー室で体を拭き、パジャマに着替えます。 （看護師が行います。）
食事 栄養管理		●食事は夕食まで食べられます。 ●水分は十分にとって下さい。	●食事を摂ることはできません。 ●水分は、お茶・水のみ（　　）時まで摂ることができます。 それ以降は摂ることができません。		●診察後よりお茶・お水を摂ることができます ●昼より全粥がはじまります。 （食事の開始は遅れることがあります。）
説明 指導 教育	●手術前後の経過について説明します。 （主治医）	●病棟の案内をします。 ●手術前後の経過について説明します。 (看護師) ●麻酔科医による診察があります。 ●薬剤師の訪問があります。 ●手術室看護師の訪問があります。 ●理学療法士から、リハビリテーションの説明があります。 ●眠れない時には、看護師にお知らせ下さい。	●手術室に入室する30分前に、うがいと排尿を済ませて下さい。 ●手術着に着替えます。 ※手術室に入室する時刻 （　　時　　分の予定） ※手術中、ご家族はA棟５階の食堂でお待ち下さい。 （個室の方は個室でお待ち下さい。） 原則病棟内でお待ちください。やむを得ず病棟外へ行く場合はスタッフステーションに声掛けしていただく様お願いいたします	●大切な管がたくさん入っています。抜かないように気をつけましょう。 ●手術後はリカバリー室に、入室してくださいます。 ●痰は飲み込まずに出して下さい。 ●転倒・転落等の不測の事態を避けるためベッド柵が取付られています。 ※ご家族の方へ主治医から手術結果の説明があります。看護師が案内します。 ※ご家族の方の面会はリカバリー室にて行います。 **少人数**･**短時間**でお願いします。	●主治医の診察の後、リカバリー室から個室へ移動します。
サイン欄					

＜手術に必要な物品＞

- □ 前開きのパジャマ1組
- □ 下着1枚
- □ タオル1枚
- □ ティッシュ1箱
- □ コップor水のみ（割れないもの）
- □ 歯磨きセット
- □入歯入れ(必要時)
- □内服薬

※ひとつずつに名前を書いて下さい。
※手術前日に看護師が確認します。
※手術当日に看護師が預かります。

※この用紙に記載された内容は予定であり病状に応じて内容・入院日数の変更はありますが、日々説明を行っていきます。ご不明な点はお気軽にお伝え下さい。

前立腺摘除術を受ける方へ

	術後2日目（　/　）	術後3日目（　/　）	術後4日（　／　）	術後5・6日（　/　）（　/　）	術後7日（　／　）	術後8日（　／　）	～（　／　）退院日
検査 治療 処置	●体温・脈拍・血圧を 1日3回測ります。 ●傷の観察をします。	●体温・脈拍・血圧を 1日1回測ります。 ●採血があります。		●ドレーンを抜きます。	●創部の状態により、 半抜糸(鉤)をします。 ●採血があります。	●創部の状態により、 残抜糸(鉤)をします。	
薬剤							
安静度	●歩行できます。		●制限はありません。 積極的に歩きましょう。				
リハビリ テーション	●看護師（及び理学療法士）による リハビリテーションを行います。						
排泄	●尿に管が入っています。				●膀胱造影の検査を行い 問題なければ、尿の管を 抜きます。 ●自分で排尿できます。		
清潔	●身体を拭きパジャマを 着替えます。	●身体を拭きパジャマを 着替えます。	●髪を洗います。	5日目 ●足を洗います。 6日目 ●身体を拭きパジャマを 着替えます。		●退院療養計画書をお渡します。 ●退院後の生活についての 説明があります。(医師･看護師) ●退院処方をお渡しします。 ●手術後の経過と手術時に提出した検査の 結果をお話します。(医師) ※後日外来での説明になることもあります。 ●必要時、薬剤師よりお薬の説明があります。	
食事 栄養管理	●朝より普通食です。	●制限はありません。					
説明 指導 教育			尿の管を抜いた後、 排尿日誌をつけてもらいます。	○。。	●尿の管が抜けた後、しばらくは 排尿時の痛みや尿漏れが あります。 ●膀胱造影の検査までに パッドを購入して下さい。 ●骨盤底筋群体操を始めます。 (別紙用紙をお渡しします)		
サイン欄							